

# 変わる

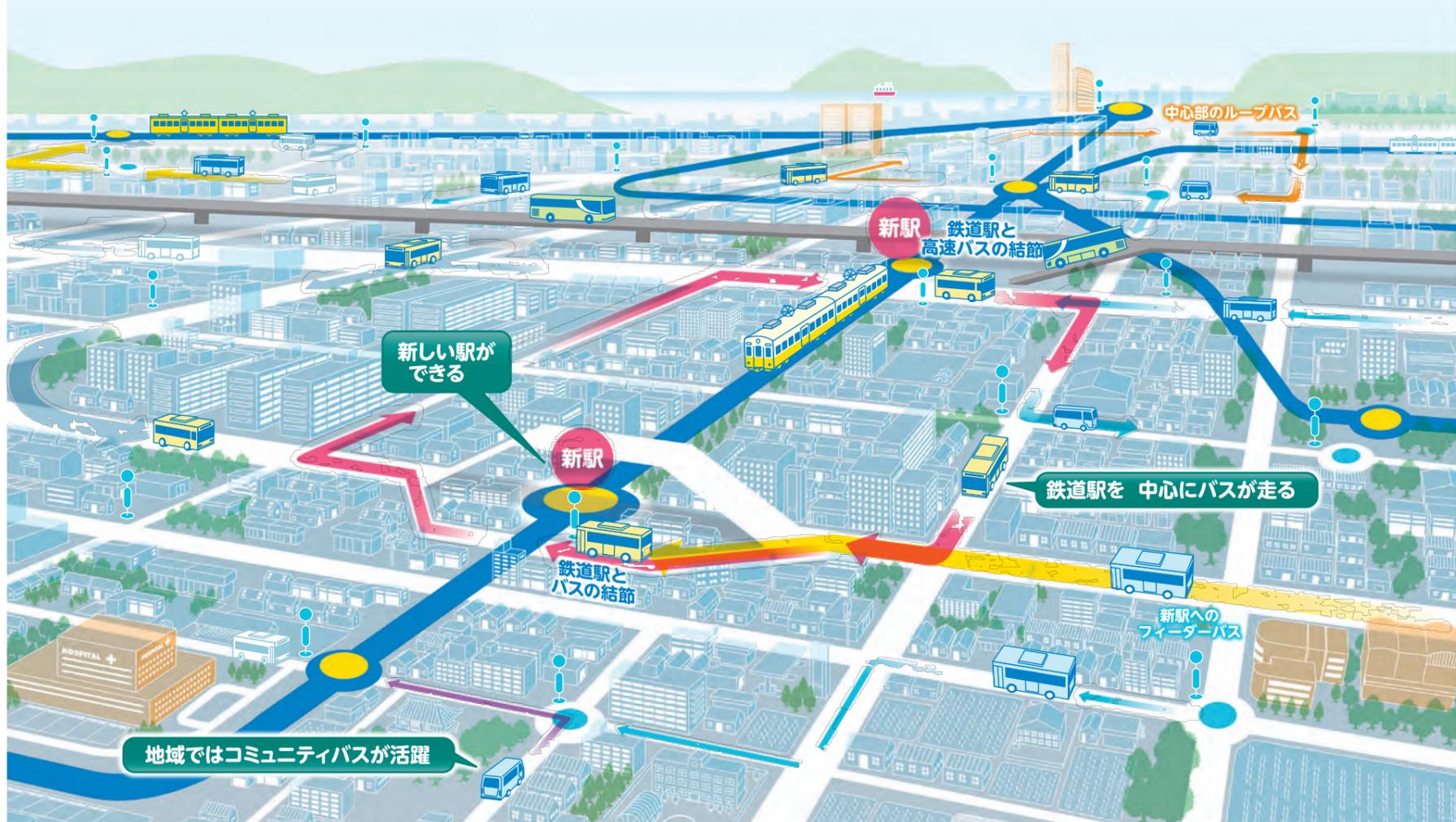
# 公共交通

高松モデル 編

お問い合わせ  
交通政策課(☎839・2138)

本市では、人口減少、少子・超高齢社会の到来による、公共交通の衰退を防ぐため、鉄道を基軸としたバス路線の再編に取り組んでいます。  
市民の足である公共交通を将来にわたって維持するためには、皆さんに公共交通を利用してもらうことが大切になります。

**公共交通を 取り巻く環境**  
高松市では、自家用車の普及と相まった道路網の整備により、「郊外部」での宅地開発が急速に進みました。その結果、都市機能が拡散し、自家用車への依存がますます高まり、公共交通利用者は大きく減少しました。市内を走るバスはこの約30年で4路



線28系統が廃止になりました。また、近年の労働力人口の減少などにより、バスの運転者数も大きく減少し、運転手不足が深刻化しています。

**高松市のバス路線**  
市内を走る多くのバス路線は、郊外部から高松駅に向かって、長い距離を運行しています。電車と並行して走っている、路線が重複した区間もありません。これらの路線は利用者が少なく、市民の移動手段を確保するため、バス路線の維持には税金を払っています。

公共交通を取り巻く環境が大きく変化する中、将来にわたり公共交通を維持していくためにはどうすればいいのでしょうか。

**解決策は高松モデル**  
本市の公共交通には2つの強みがあります。

- ①JRとごでんの電車が走っている
- ②高松市とごでんが協力し、交通系ICカード「IruCa」を活用した、公共交通の利用を促進する施策がある

これらの特長を生かし、電車と路線バスやコミュニティバスなど、多様な交通手段が密接に連携する公共交通に変えていきます。今ある電車やバスを有効に活用しながら、需要

ことで得られるメリットなどを、分かりやすく解説したパンフレットを3種類作成しました。ぜひ、読んでみてください。

- ◆設置場所  
交通政策課(市役所4階)  
※バスの乗り方教室、交通政策や公共交通についての市政出前ふれあいトークで配布します。

## パブリックコメントを実施します

### 総合都市交通計画改定【案】

### 地域公共交通再編実施計画【案】

総合都市交通計画改定(案)は、平成22年11月に策定した「総合都市交通計画」について、「コンパクト・プラス・ネットワーク」の考えのもと、将来にわたり持続可能な公共交通ネットワークを構築していく観点から、各施策の効果検証と見直しを行い、改定したものです。  
また、地域公共交通再編実施計画(案)は、持続可能な公共交通の再構築に向けた、市域全体におけるバス路線の再編についての計画です。この二つの計画(案)について、市民の皆さんからご意見・ご提案を募集します。

に応じた持続可能な公共交通ネットワークを構築していく、これが「高松モデル」です。

### 高松モデル

#### 実現のために

高松モデルを実現するために、次のことに重点的に取り組んでいます。

- ▼新しい駅の整備  
本市では、ごでん琴平線の「三条(太田駅間)」と「太田(仏生山駅間)」に新駅を整備します。どちらの駅も、徒歩や自転車に加え、遠くからでもバスなどの交通手段で来てもらえる、利用しやすい「駅前広場」の整備を計画しています。
- ▼バス路線の再編  
また、新駅の整備に併せ、バス路線を効率的に見直し、駅前広場にバスをつなぐことで、電車とバスの結節を図ります。バスから電車、電車からバスに乗り換えて、移動してもらいたいと考えています。
- ▼電車⇄バス乗継促進  
利用する人が乗り換えやすくなるよう、駅の環境を良くすることや、乗り継ぎにより運賃が高くならないようにすることで、公共交通の利用につなげていきたいと考えています。

このような、高松モデル実現のためのヒントや、公共交通を利用する



- ◆募集期間  
3月1日(金)～22日(金)
- ◆資料閲覧場所  
交通政策課(市役所4階)、市民相談コーナー(市役所1階)、情報公開コーナー(市役所11階)、各総合センター・支所・出張所、各コミュニティセンター(支所・出張所併設の施設を除く)、市ホームページ
- ◆応募方法  
所定の用紙に記入し、郵送、ファクス、Eメールまたは直接、交通政策課(〒760-08571 FAX 839・21255 Eメール:kotsuseisaku@city.takamatsu.jp)へ。※所定の用紙は資料閲覧場所にありません。